

観測の両面からお互いに議論し、理解を深められる非常に良い環境が先生の研究熱心と人徳で自然に作られていたことも大きい。

先生は、1985年に九州大学を退官された後、1986年から1993年まで九州産業大学で教鞭をとられた。1989年には地球電磁気学会より、学問の成長を先導する顕著な業績をあげたことにより長谷川記念杯を受賞された。

筆者が大学院時代の頃、先生は休憩の時間によく研究の話を楽しそうにされた。また日本で開催された量子エレクトロニクス、地球物理、ライダーなどの国際会議と一緒に連れて行って頂いた。また退官後も学会

にはよく顔を出され、教え子と会って研究の話などをされるのを楽しみにされていた。ここ数年は体の不調で出席できなかったことは先生も大変残念であったろうと推察する。しかし、奥様の話では、この間も、家庭では大きな虫眼鏡を使って論文を楽しそうに読まれていたとのことであった。このように先生は、終生こよなく研究を愛され、研究を趣味として数々の成果を上げられた。

先生の成果は、広く国内外の大学・研究機関に受け継がれていることを述べて哀悼の記としたい。

広島地方気象台 内野 修

2003年度「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」の 受賞候補者および研究奨励賞候補者の募集

標記の会から、下記のお知らせがありました。「猿橋賞」についての気象学会からの推薦者は、7月末～8月初めの「学会外各賞推薦委員会」で決定する予定ですが、学会以外からの推薦も可能ですので下記の要領で応募して下さい。詳しい応募要領と応募用紙は気象学会事務局にあります。

1. 猿橋賞

- (1) 対象：自然科学の分野で顕著な研究業績を収めた女性科学者。下記締切日に50歳未満であること。
- (2) 表彰の内容：賞状、副賞として賞金30万円。毎年1件（1名）
- (3) 応募方法：所定の用紙に必要事項を書いて下記あて先へお送り下さい。
- (4) 締切り：2002年11月30日（必着）

2. 研究奨励賞

- (1) 趣旨：海外シンポジウム等に出席し、論文を発表する女性研究者への助成。下記締切日に40歳未満であること。
- (2) 助成金は1件10万円、毎年数件。
- (3) 応募方法：所定の用紙に略歴、研究業績、国際会議名（主催団体・開催場所・年月日）、発表論文題目、推薦理由等を書いて下記あて先へお送り下さい。
- (4) 締切：2002年11月末日と2003年4月末日

3. 応募先：女性科学者に明るい未来をの会

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北4-29-2-217
Tel・Fax：03-3330-2455